

# 一般質問通告事項【12月4日(月)】《1日目》

平成29年第5回松江市議会定例会

順序	議員名	野津 照雄	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月 4日
質問項目		質問要旨			
1	衆議院総選挙の結果とその後 の国の動き、地方 創生について	(1) 所信表明での生産性革命、人づくり革命について ア 地産地消推進 イ 地域商社 ウ 保育士 エ 消費税(地方消費税)配分			
2	中核市指定に ついて	(1) 中核市指定について ア 保健所の県との共同設置 イ 財政運営(利用料金の見直し)			
3	中海振興につ いて	(1) 中海振興について ア ジオパーク イ 中海の漁業振興 ウ 水陸両用機			
4	大橋川改修事 業について	(1)下流拡幅部の家屋移転用地、補償協議、事業進捗について (2)上流拡幅部について (3)雲南市「特定非営利活動法人・さくらおろち」について (4)ミズベリング縁日、街並み景観、護岸整備について			
5	宍道湖、大橋 川、河川の水質環 境、水草、藻につ いて	(1)宍道湖、大橋川、河川の水質環境、水草、藻について(全国シジミシンポジウムについて)			
6	ホーランエン ヤについて	(1)ホーランエンヤについて			
7	シンガポール と韓国訪問につ いて	(1)シンガポールと韓国(晋州市)訪問について			

# 一般質問通告事項【12月4日(月)】《1日目》

平成 29 年第 5 回松江市議会定例会

順序	議員名	野津 直嗣	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月 4日
質問項目	質問要旨				
1 超高速鉄道の整備促進について	(1) 将来の夢ある松江市のために、超高速鉄道の整備促進については必要である。超高速鉄道化に対する市長の想いを伺う。				
2 2029年、国体の誘致について	(1) 2巡目となる国体誘致について、島根県は2029年の開催に前向きとの事である。他の市町村に遅れをとることなく、メイン会場の誘致に向けた市長の想いを伺う。				
3 待機児童対策について	(1) 持続可能で、安心して子どもを産み育てる事のできる環境づくり、女性の活躍推進を積極的に行わなければならない。こういった事を踏まえて、子育て環境日本一を目指していく中で、来年度の待機児童対策について市長の展望と対策を伺う。				
4 教育・福祉・医療の今後の方向性について	(1) 教育環境の充実に向けた教育委員会の施策の方向性や新しい取組みについて伺う。 (2) 福祉環境の充実に向けた来年度の健康子育て部、及び福祉部の施策の方向性や新しい施策について伺う。 (3) 医療環境の充実に向けた来年度の松江市立病院の施策の方向性や新しい取組みについて伺う。				
5 「松江モデル」の就学前・幼児教育への挑戦について	(1) 全国ではまだこの自治体も本気でやっていない家庭保育・就学前教育や幼児教育のための政策に挑戦する必要があると考える。市民や大学、既存の保育所や幼稚園の在り方や役割分担の整理、家庭での育児支援などを官民、市民や大学、地域などで行う共創のまちづくりで行えば、まさに「松江モデル」の0歳から6歳までの就学前の取組みが行えると考えている。市長は「子育て環境日本一」に向けて、「松江モデル」の一つとして、この就学前教育や幼児教育への取組みをされる考えがないか伺う。				
6 小学校の存在意義や守るという事について	(1) 現在、児童数の減などによる小学校の適正化が言われ、いずれいろいろな地域の学校も適正化の対象になると思われる。これは地域の拠点である小学校を守るという点において、市の他の部署も優先順位を持って取り組まないと、地域を守るといった信念や思いに対する政策との整合性が取れないが考えを伺う。				
7 持続可能な集落を維持するための抜本的な取り組みについて	(1) 都市計画マスタープランが策定されたが、土地利用のあり方の議論の根源は「集落」の維持や地域の存亡問題であったと認識している。今の都市マスタープランの考え方プラスで深化させ、集落を維持させるためのより直接的な政策の方向性である三世代同居への支援やリフォーム、敷地内等に新築の家を建てる事等に支援を行い、より直接的に集落の維持について考えるべきである。これを真剣に考える時期に来ているのではないかと。結果、それがトータルの社会コストを下げっていくものかと考えるがいかがか。				

# 一般質問通告事項【12月4日(月)】《1日目》

平成29年第5回松江市議会定例会

順序	議員名	野津 直嗣	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月 4日
質問項目	質問要旨				
8 東庁舎問題について	(1) 殿町の再開発の検討については、県の協力と理解も得ながらやっていく事だが、人の視覚的導線や景観も含んで考えると、松江城周辺や殿町のまちづくりを考える上で、東庁舎の問題を抜きには、まちづくりはできないと思うが考えを伺う。				
9 市職員も含めた人材育成について	(1) 全国には「スーパー公務員」と呼ばれる熱意を持った公務員がいる。人材育成のポイントは、「人の熱量」と「体験」や「経験」、「交流」だと考える。こういった全国のスーパー公務員と呼ばれる人を松江に招いて、全国各地の公務員の活躍事例発表やワークショップ、交流などを行う全国スーパー公務員シンポジウムやワークショップを開催したらどうか。				
10 地域おこし協力隊について	(1) 地域おこし協力隊は今や松江のまちづくりにおいて欠かせない存在になった。地域おこし協力隊について、来年度の取組みを伺う。				

順序	議員名	川島 光雅	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月 4日
質問項目	質問要旨				
1 来年度の予算編成について	<p>(1) 総合計画から次年度の予算編成対応について</p> <p>総合計画では行政マネジメントシステムを活用し PDCA サイクルにより、施策評価と見直しを行うとしているが、今までの総合戦略の実績等も考慮に入れておられるはずと思われますので、次年度ではどのような項目や事業が見直しの対象になるのか伺います。</p> <p>(2) 地区からの土木要望の対応について</p> <p>各地区から土木要望という形で、10月の末日までにとりまとめを行われますが、3月の年度末においてその結果が分からないという地区の声が多く聞かれます。行政対応として、せめて、執行年度の初めには地区に対して何らかの結果を知らせるのが親切ではないかと思いますがご所見を伺います。</p> <p>また、要望の多いものについては短期集中的な小規模改修事業なども行ってはどうか。ご所見を伺います。</p>				
2 総合戦略について	<p>(1) 人口増対策についてのプロモーション活動</p> <p>人口の増加について、社会動態の観点から移住案内広報やネット配信でもっと積極的に他の自治体に対しても転入を促すプロモーションを行うべきと思いますがご所見を伺います。</p>				

# 一般質問通告事項【12月4日(月)】《1日目》

平成 29 年第 5 回松江市議会定例会

順序	議員名	川島 光雅	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月 4日
質問項目	質問要旨				
2 総合戦略について	<p>(2) 人口増対策のための元気な中小企業の継続的な支援策について</p> <p>ア 松江市は、県の中小企業・小規模企業振興条例の基本計画策定に関与し効果的な施策や実施に努めると述べていらっしゃいました。また、アクションプログラムとかチャレンジショップ等と照らし効果的な支援策を実施するといっておられますが、どのような支援策を行ってきたか伺います。</p> <p>イ 昨年の2月議会での質問で、松浦市長は経営発達支援計画などの兼ね合いもある中で、中小企業の振興基本条例を関係者と協議の場を設けて検討して参りたいと述べておられます。製造業などの景況感が若干いい中今がその時期と思われるのですが、いかがでしょうか。</p> <p>(3) 住宅政策も人口増の条件</p> <p>島根県の外郭団体が実施している住宅整備促進事業で、販売が若干遅れている団地がありますが、市としての売り込みやPRが不足しているのではないのでしょうか。もう少し積極的にPRすることにより販売率も上がり若者の定住に寄与すると思われるのですがご所見を伺います。</p>				
3 介護保険事業について	<p>(1) 介護保険事業計画（第7期）について</p> <p>ア 介護保険条例の改正に向けてサービス見込み量・保険料の仮設定などの検討に入っている時期と思われる。その状況等を伺います。</p> <p>また、現保険料は基準額が月額5,848円ですが、介護サービスへの利用増加やニーズの多様化に添えていくには当然保険料の値上げも見込まれますが、そのことに対してのご所見を伺います。</p> <p>イ 市民が自発的に「我が事・丸ごと」の地域づくりに向け取組みやすいように、基本方針の中に「生活者のニーズに応じた新たなサービスの取り組み・社会資源の創出に対する支援」の明記や、介護人材の確保対策として、松江市全体で取組むべき課題として、養成機関の整備と魅力ある学科の創設、介護職員の働き方改革、外国人労働者の雇用等の体制構築についても積極的に計画に取り入れていただきたいと思いますがご所見を伺います。</p> <p>(2) 中核市移行による権限移譲について</p> <p>ア 中核市移行による、権限移譲で介護保険事業に関わる条例等も策定されるようですが、メリットを伺います。</p> <p>イ 多数進出してきたサービス付き高齢者住宅も、訪問介護や在宅介護なども必要になってきますので、その把握は計画策定に重要と思われる。このような施設の運用、総合的な介護施設のあり方、進め方などにも、どのように役に立つようになるか併せて伺います。</p> <p>(3) 地域密着型サービス・介護予防地域密着型サービス施設支援について</p> <p>ア 松江市の6期の計画では看護小規模多機能型居宅介護が5施設の計画目標ですが、その実績はどのようであったのか伺います。</p>				

# 一般質問通告事項【12月4日(月)】《1日目》

平成 29 年第 5 回松江市議会定例会

順序	議員名	川島 光雅	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月 4日
質問項目	質問要旨				
3 介護保険事業 について	<p>イ 今後、看護小規模多機能型居宅介護施設運営に対して運営状況は不採算を生じるところが多く、地域性やニーズを十分把握して、経営シミュレーションにも指導していくことが大切であると思いますがご所見を伺います。</p> <p>(4) 認知症対応について</p> <p>今後も増えると想定される認知症患者に対して、7期計画においては認知症対策として認知症対応型共同生活介護サービスの拡充が必要と思われまますがご所見を伺います。</p>				
4 マイナンバー 制度の進捗と取 り組みについて	<p>(1) マイナンバー制度の対応体制の構築について</p> <p>マイナポータルへのログインで各種行政手続きのオンライン申請が利用できるサービスが 11 月 13 日から本格運用となりました。</p> <p>これらを運用すると保育園や幼稚園等の利用に当たっての申請や、児童手当の申請、介護休業給付金の支給の申請、生活保護の申請や、奨学金の申請など様々な行政手続きが関係機関との情報連携に伴い必要書類が省略可能になるわけですが、その部内体制はどの程度構築されているのか伺います。</p> <p>(2) カードの普及率アップの状況について</p> <p>ア 1年前にお聞きしたときは9%ぐらいの申請と聞いておりましたが、現在はどのようになっていますか。</p> <p>今後の普及率向上に向けての取り組みについてご所見を伺います。</p> <p>イ マイナポータルへのログインには 1000 円以上からするカードリーダーの購入かマイナンバーカードに対応した NFC スマートフォンが必要であり、一部購入助成するのも普及促進に繋がるのではないかと思います。ご所見を伺います。</p>				
5 農業・農村の維 持振興について	<p>(1) 米の生産調整と直接支払い交付金の廃止対応について</p> <p>ア 平成 29 年は生産調整廃止を見据えて自主的な取り決めはしたものの、平成 30 年の対応に関心が集まっていました。来年も生産調整は島根県では継続するようなことを新聞では見かけますが、方向性について伺います。</p> <p>イ 市としては農地の集積や大規模営農、法人化等をすすめ、収入面では水田活用作物転作や多面的機能支払い交付金の活用などを推進策としてよく稲作農業に対して方向性を示されますが、現実の厳しさは共有されているように拝察しております。農政課の職員も忙しい時間を割いて各地区会議に出席されています。それらの声を元に具体的に答える支援策を市単独で考えられることはないのか伺います。</p> <p>(2) 外国人技能実習制度の活用と「スーパー公務員」の育成について</p> <p>ア 人手不足を補う外国人技能実習制度の見直し拡充に伴い、そのような受け入れ指導に対してのご所見を伺います。</p>				

# 一般質問通告事項【12月4日(月)】《1日目》

平成 29 年第 5 回松江市議会定例会

順序 3	議員名 川島 光雅	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	1 2 月 4 日
質問項目	質問要旨			
5 農業・農村の維持振興について	イ 業務量が多く、それらが無難にこなす多彩な職員は多数見受けられますが、愚直でも専属で一つの仕事をこなし、地域を再生させる職員の育成も必要と思います。そのような職員を地域再生の専属に当てて携わらせるのも閉塞感を打破する方法と思いますがご所見を伺います。			

順序 4	議員名 森本 秀歳	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	1 2 月 4 日
質問項目	質問要旨			
1 次期学習指導要領改訂について	(1) 学習指導要領が改訂され小学校では平成 32 年度から全面実施の予定で、英語や道徳の時間など、新たな学習の導入も含まれている。 これにより、総合学習の時間への影響も懸念される。学習指導要領の改訂により、どのような影響が出てくると考えているか。これまで取り組んできたことが継続していけるのか。問題が生じた場合、解決策について考えがあるのか。			
2 小中一貫教育の検証について	(1) 小中一貫教育も取り組みから 7 年経過した。これから先、小中一貫教育で学んできた子どもたちが社会人になる年頃となるが、卒業した児童生徒を対象に、ふるさと教育やキャリア教育の成果の検証を行ってはどうか。教育は百年の計と言われる。これまでの取り組みを評価、あるいは改善点の洗い出しのためにも必要と思うがいかがか。 (2) 横の一貫教育について、地域の中でどの程度浸透してきたと認識されているのか。そして、地域全体で取り組む土台をつくるため、今後どのような方策が必要と考えるか。			
3 教職員の増強について	(1) 教職員の長時間労働が問題視されている中、教職員数の不足も原因ではないかと思う。国では教育の無償化を検討されており、保護者にとっては非常にありがたい話であるが、限られた財源を教育に充てるのなら、教職員増に充てることも重要と考える。学習指導要領改訂も始まるようとしている中、新たな学習の導入により、教職員のこれまで以上の負担増が懸念される。中核市移行に伴い、教職員の人事権を求めておられるならば、教職員の増員についても、この際併せて考えられてはどうか。			
4 特産品のブランド化について	(1) 現在、松江市が特産品としているものは、どのようなものがあるのか。そして、それらの出荷額等の統計データをつかんでいるのか。数多くある特産品を売り込むにあたり、今後の方策について問う。			

# 一般質問通告事項【12月4日(月)】《1日目》

平成 29 年第 5 回松江市議会定例会

順序	議員名	森本 秀歳	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月 4日
質問項目	質問要旨				
4 特産品のブランド化について	(2) 農産物のブランド化を進めるため、国や県の様々な認証制度の取得に積極的に取り組んでいる。しかし、苦勞して認証制度や登録制度を取得しても、世間では全く知られていない状況にある。ブランド価値を認識してもらうために、各種認証制度の周知を図るなどの方策をとるべきと考えるが如何か。				
5 中小企業振興条例の制定について	(1) 具体的な施策として「ものづくりアクションプラン」を展開しており、条例制定の必要性が感じられないようであるが、工業、農業、建設業、商業、観光など幅広く産業全般を対象とし、また、起業の促進や雇用・就労の維持創出も含め、行政や事業者、教育機関、市民あげて産業振興に係る体制づくりを示すことが必要と考える。これまで「ものづくり産業に関する振興条例」などの制定の考えについて質問してきたが、あらためて中小企業振興条例制定についての考えを問う。				
6 今冬の除雪対応準備状況について	<p>(1) 重機を所有している業者も少なく、業者自体も減っている中、機械の充足状況はどうか。</p> <p>(2) 除雪の優先順位はどのように決め、市民の皆さんにどのように周知しているのか。</p> <p>(3) 農村部においては、除雪の優先順位が下位にあるところも多く、苦情も多く寄せられている。農家所有のトラクターへの排土板装着について、法的な条件が整えば、助成制度を設け、除雪に協力してもらう体制をとってはどうか。</p> <p>(4) 除雪用排土板を付けた市所有の車両は、積雪量や道路勾配によっては機能発揮出来ない。同様な車両を所有されている市民の方に、トラクターと同じく、排土板装着してもらい除雪に協力してもらう体制はとれないか。</p>				

順序	議員名	長谷川修二	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月 4日
質問項目	質問要旨				
1 滞在型観光の振興について	<p>(1) 商工業者の皆さんやサービス産業の皆さんのみならず、市民の皆さんが来訪された方々へ松江の魅力を話すことが出来る仕組み作り（勉強会などの開催）について伺います。</p> <p>(2) 松江市の観光プロモーションの現状について伺います。</p> <p>(3) 滞在型観光振興施策の現状と成果はどうか。</p> <p>(4) 今後の滞在型観光振興施策について伺います。</p> <p>(5) 滞在型観光を進展させる施策として大橋川両岸と宍道湖両岸、玉造温泉街を中心に、季節により様々に変化するイルミネーションを活用した、松江らしい夜景をプロデュースすることについてご提案申し上げますが、市長のご所見を伺います。</p>				

# 一般質問通告事項【12月4日(月)】《1日目》

平成 29 年第 5 回松江市議会定例会

順序	議員名	長谷川修二	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月	4日
質問項目	質問要旨					
2 介護保険事業 計画(第7期)策 定状況について	(1) 自立支援や重症化防止に向けてどのように取り組んでおられるのか。 (2) 今後増加が予想される認知症のより一層の予防策を如何に取り組んで行かれるのか。 (3) 次期介護保険料はどう考えているのか。 (4) 総合事業については、現状の課題と今後の事業展開の見通しは如何か。					
3 読書の推進と、 子どもたちと電 子メディアとの 上手な付き合い 方について	(1) 斉藤孝先生の方式による速音読授業について、姉妹都市である尾道市の取り組み状況を調 査・研究され、導入について検討されるお考えについて伺います。 (2) 松江市における、保・幼・小・中学校の園児・児童・生徒や保護者への電子メディアとの上 手な付き合い方の啓発と教育の推進について伺います。 (3) 松江市において出産時に絵本を贈呈するブックスタートを復活されるお考えについて伺いま す。 (4) 松江市で学ぶ子どもたちや市民の皆さんが、家庭における読書をより一層推進するための取 り組みについて伺います。					
4 防災対策と消 防体制について	(1) 避難に対しての指示、指揮、命令系統の再確認と、住民の皆さん、町内会・自治会連合会の 皆さん、公民館の皆さん、消防団の皆さんへの周知徹底が求められるところであると思われま す。市長の見解を伺います。					
5 男女共同参画 について	(1) 育児休業取得における男女格差の現状と解消への取り組みについて伺います。 (2) 出産後の育児に対する理解促進の取り組みは如何か。 (3) 家庭におけるDVの状況は如何か。 (4) 女性の活躍の促進や活躍しやすくするためにどのような政策を講じることが必要か伺いま す。					

順序	議員名	田中 肇	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月	4日
質問項目	質問要旨					
1 市長の政治姿 勢について	(1) わが国の国政の立憲主義をめぐる状況についての見解を問う。 (2) 市長が立憲主義に立ち、憲法を尊重・擁護し、市民の暮らしに憲法を生かす市政をすすめる 決意を問う。 (3) 北朝鮮問題を平和的に解決する上で欠かせない米朝直接対話による解決を政府に求めるべき ではないかと考えるが、見解を問う。					



# 一般質問通告事項【12月4日(月)】《1日目》

平成 29 年第 5 回松江市議会定例会

順序	議員名	田中 肇	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月 4日
質問項目	質問要旨				
2 原発問題について	<p>(1) 日本原燃核燃料サイクル施設の使用済み核燃料再処理工場について、日本原燃の工藤社長が審査の先送りの申し出を行い、原子力規制委員会は、新規制基準に基づく審査の中断を決定している。この事態に至った原因と現状、今後の見通しについて、市としての見解を問う。</p> <p>(2) 日本原燃のこれまでの経過と現状は、平成 21 年 3 月 24 日に中国電力へ通知したプルサーマル計画の了解時の「核燃料サイクルについての懸念」がまさに現実のものとなったものではないか。見解を問う。</p> <p>(3) 平成 21 年 3 月のプルサーマル計画了解は、その後に起きた、福島原発事故、もんじゅの廃炉決定、度重なる日本原燃での品質保証に係る問題等の重大な状況の変化を考えたとき、島根原発の今後を考える上で、不動の前提とすべきではないと考えるが、市長の見解を問う。</p>				
3 生活困窮者自立支援制度について	<p>(1) 滞納を生活困窮者のシグナルととらえ、自治体上げて生活再建を支援することで、生活困窮者の自立支援をすすめている滋賀県野洲市の精神を、松江市でもさらに生かしてはどうか。市長の見解を問う。</p> <p>(2) 松江市の生活困窮者自立支援制度について、制度発足以降どのような制度の活用実態と課題があるのかについて問う。</p>				
4 市民の生活実態と公共施設料金の値上げについて	<p>(1) 生活に困窮しておられる市民の実態をどのように把握しているか問う。</p> <p>ア 生活保護受給の対象となりうるが、保護申請をしておられない世帯の数</p> <p>イ 生活保護受給の対象にはならないが、国保料の軽減対象にはなっている世帯の数と年間所得額及び給与収入（7割、5割、2割軽減ごと）</p> <p>(2) 今回提案されている公共施設料金の改定が、一世帯当たり、年間どのくらいの負担増になるのか目安を示されたい。</p> <p>(3) 今回の公共施設料金改定は性急に過ぎるのではないかと。改定の根拠ごとに、それぞれ時間をかけて議論すべき課題だったのではないかと考えるが、市長の見解を問う。</p> <p>(4) 支出毎の経済波及効果の比較・検討を行っておられるのかを問う。</p>				
5 中核市移行と身近な自治について	<p>(1) 中核市としての市政をすすめていくにあたり、市中心部と共に周辺部が栄え、住民に身近な自治が栄えていく市政をすすめる市長の決意を問う。</p> <p>(2) 集会所の運営支援に関する現状と支援の拡充の見通しを問う。</p>				
6 待機児童問題について	<p>(1) 待機児童数と不承諾数について</p> <p>ア 11月1日時点での、待機児童数及び不承諾数を問う。</p> <p>イ 関係者の努力にもかかわらず、状況の改善が見られない原因はどこにあるのか、今年度も様々な施策を打たれたところではあるが、状況を改善するために今後どのような方針か問う。</p>				

# 一般質問通告事項【12月4日(月)】《1日目》

平成 29 年第 5 回松江市議会定例会

順序	議員名	田中 肇	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月 4日
質問項目	質問要旨				
6 待機児童問題について	ウ 教育民生委員会として先ごろ視察した東京都町田市では、不承諾数と待機児童の区分を市の施策上は設けず、不承諾数も待機児童数として考え、対策をとっておられたが、松江市の姿勢を問う。				
7 青少年支援策について	(1) 18歳以降の青年に対する支援策について ア 学校との関係が切れ、まだ定職につけないでいる青年の実態についてどのような認識か問う。 イ このような状況にある市民に、市としてどのような支援を行っているか、また今後考えているか問う。				
8 学校統廃合と地域振興について	(1) 松江市の行政の仕組みの中で、市長部局が行う地域振興・定住対策が、教育行政の将来児童数予測に加味され、学校統廃合計画が検討されるようなシステムが、市周辺部の今後にとって必要ではないかと考えるが、見解を問う。 (2) 古江小、秋鹿小、大野小の地域を例にとった場合、この地域の振興及び定住対策として市が行っている施策を問う。				
9 教職員の超過勤務問題について	(1) 9月議会において、教職員の勤務実態について把握するため、2学期中に調査を行うとの答弁があった。現在の状況と今後の見通しを問う。 (2) 学校における働き方改革を検討している中央教育審議会特別部会が9月22日に示した提案が新聞報道されているが、市教育委員会としての受け止めを問う。 (3) 市教育委員会として、積極的に職務内容の縮減に取り組むべきと考えるが見解を問う。				
10 総選挙投票率について	(1) 前回国政選挙以降の投票率を上げる取り組みと、その取り組みの成果が10月22日投開票の第48回衆議院議員選挙における投票率に現れたかどうかを問う。 (2) 期日前投票の日程や方法、場所などについての市民への周知方法を問う。また、市のホームページ上に掲載されていたかを問う。 (3) 18歳選挙権の時代となり、大学や高等学校、各種学校への投票所設置が今後進んで行くと考えられるが、全国の現状をどのように認識しているか問う。また市として今後どのように進めていくかについての見解を問う。				